

君津第二製鋼工場 脱りん処理炉稼働 品質・納期対応力を強化

君津・第二製鋼工場では昨年より脱りん処理炉の設置工事を進めてきたが、4月30日予定どおり稼働を開始した。以降、順調に稼働しており、設備機能、精錬機能の確認を確実に進めている。6月2日には、建設工事関係者および社内関係者が参列して竣工披露式を行い、安定操

業を祈願した。脱りん処理炉は最新式の転炉OG型排ガス回収・集塵設備および廃熱回収ボイラー設備を有し、省エネおよび環境に配慮した設備。脱りん処理炉が稼働したことで、専用炉型転炉溶銑予備処理（脱りん専用炉および脱炭炉の2炉を用いる精錬方法）

による高級鋼（低りん鋼）の安定的な生産が可能となり、品質・納期対応力が一段と強化される。

また、このほか精錬機能の高効率化も図られ、スラグ発生量削減などによる環境改善効果も大いに期待されている。



お問い合わせ先
君津製鉄所 広報センター
TEL 0439-50-2013

韓国 / ポスコ向けコークス乾式消火設備(CDQ)を受注

新日鉄と双日(株)は、韓国のポスコ建設 (POSCO E&C) と共同で、韓国のポスコからCDQを2基同時受注した。ポスコ浦項

製鉄所の第1コークス炉向けと、今後建設される第5コークス炉向けにそれぞれ1基ずつ新設される。現在、新日鉄式CDQ

は光陽製鉄所で1基が建設中、光陽・浦項製鉄所に4基が稼働中であり、これらの建設と操業の実績が評価され今回の受注と

なった。

今回受注した2基を合わせるとポスコより受注したCDQは合計7基となる。

中国 / 済南鋼鉄向けコークス乾式消火設備(CDQ)を受注

新日鉄プラント・環境事業部は、粗鋼生産量中国第9位の高炉一貫製鉄メーカー済南鋼鉄(済鋼)からCDQを受注した(運転開始:2006年11月)。今回の受注で、当社CDQ設備の累計納入・受注実績は、全世界で新設45基、改造6基となり、トップサプライヤーだ。

済鋼は1994年自社でCDQの建設を行うなど、中国鉄鋼メーカーの中では早くから環境・省エ

ネルギーに取り組んでいる。当社のCDQ技術の先進性・信頼性に加えて、当社の環境・省エネルギーに対する取り組みが高く評価され、発注に至った。

今回納入するCDQは、現在中国で稼働中のCDQで最大の能力(最大150t/h) 高温・高圧・自然循環型ボイラーを採用(中国向けCDQで初)し、回収蒸気の高圧・高圧化で、約14%の発電量増が可能(中国で主流

の中温・中圧ボイラーと対比)という特徴を持つ。

当社が北京首鋼設計院と合併で設立した「北京中日聯節能環保工程技術有限公司」(*)では、2004年6月武漢鋼鉄よりNo.2 CDQを受注しプロジェクト実行中で、その実行力の高さも今回高く評価された。

中国では、環境、省エネ関連分野への関心・ニーズが高まっており、当社は、中国市場で

CDQに加えて今後さらに石炭調湿設備(CMC)、各種リサイクル技術等当社の環境、省エネ設備商品の普及に注力していく。

*2003年に設立された、中国におけるCDQ設備、およびその他省エネルギー・環境保護設備の設計、製造、販売等を目的とした合併会社。

お問い合わせ先
製鉄プラント第一部 営業グループ
TEL 03-3275-6114

中国 / 馬鞍山鋼鉄向け転炉OG設備を受注

新日鉄プラント・環境事業部は、粗鋼生産量中国第5位の高炉一貫製鉄メーカー馬鞍山鋼鉄(馬鋼)から、300トン転炉用OG設備(*)を2基同時に受注した。

世界各国に170基を超える納入実績があるOG設備は、転炉排ガス処理の標準設備として認知されている。

当社は1999年NEDOの国際エネルギー使用合理化等対策事業

のモデル事業として馬鋼のOG設備を1基受託後、省エネ・環境効果が高く評価され、2003年には2基の追加受注。今回は、これまでの納入実績と技術・価格面での競争力が馬鋼に評価され、国際競争入札を経て受注した。

OG設備は、排ガス冷却器にはボイラー方式で熱回収し、回収した転炉排ガスは燃料として再利用するため、省エネルギー

に大きく貢献する。また、OG設備独自の高效率集塵方式は、大気へ放出する煤塵量を低減し、環境保全に寄与する。

近年環境・省エネ分野への関心が高まる中国では、同分野への投資が数多く見込まれており、当社は、OG、CDQ、CMC(石炭調湿設備)各種リサイクル技術といった当社の環境・省エネ関連設備の普及に注力していく。

*OG(Oxygen Converter Gas Recovery System)設備:転炉から発生する高濃度のCOを含有したガスを、非燃焼状態で冷却・除塵した後安全に回収する、排ガス処理設備。燃焼タイプの排ガス処理方式と比べ、非燃焼タイプのため処理排ガス量が少なくなるので設備自体がコンパクトであり、レイアウトが容易かつ建設コストが安価等大きなメリットがある。

お問い合わせ先
製鉄プラント第一部 営業グループ
TEL 03-3275-6106

北九州エコタウン複合中核施設の竣工式を開催

北九州エコエナジー(株)は、5月27日、ガス化溶融炉や発電施設を合わせた「複合中核施設」の竣工式を行った。

北九州エコタウン計画における複合中核施設の事業化のために設立された北九州エコエナジ

ー(株)は、2003年6月からガス化溶融方式による廃棄物のリサイクル処理施設の建設を進めてきたが、今回の立ち上げにより、ゼロエミッション型リサイクル産業団地が国内で初めて実現される。

同施設は、本年から施行された自動車リサイクル法における自動車シュレッダーダストの再資源化施設として、さらには新エネルギー利用促進施設としての役割も担う。



社外監査役 伊藤 助成氏 逝去

さる4月21日、社外監査役の伊藤助成氏が逝去されました。

伊藤助成氏には、平成11年6月の社外監査役ご就任以降、取締役会、監査役会等にご出席頂くほか、製鉄所の業務監査等にも精力的にご参加頂き、数多

くの貴重なご提言・ご指摘を頂きました。

ここに謹んで哀悼の意を捧げるとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

(「お別れの会」は5月31日、東京・ホテルオークラで行われました。)



新日鉄の「炭素繊維による河川・湖沼浄化技術」、国交省の河川浄化施設で採用

新日鉄が独自技術として開発を進めてきた『炭素繊維を用いた河川浄化技術(*)』が、この度国交省/大和川河川事務所発注の河川浄化施設3カ所で採用された。今後、全国の河川浄化案件、湖沼浄化案件へ本技術の適用を図っていく。

*『炭素繊維を用いた河川浄化技術』: 直径7ミクロンの炭素繊維の束を汚濁した水中に浸漬させ、炭素繊維表面に付着した微生物の働きにより有機物を分解し水質の浄化を図る技術。炭素繊維は大量の微生物を保持することが可能で、浄化効果も高く、汚泥の発生量も少なくできる。炭素繊維は生物親和性が非常に良いため、炭素繊維重量の100~1000倍の活性汚泥(微生物)を保持できる。本技術により、従来に比べ、20~30%の設備費削減およびランニングコストを削減可能。本技術では、特殊なバインダーで結合させた炭素繊維の束を水中に浸漬させると、1本1本が開き、特殊な3次元の形状をつくり出す。



炭素繊維の1本1本が開き、特殊な3次元の形状をつくり出す様子

お問い合わせ先
鉄構海洋・エネルギー事業部 TEL 03-3275-6833

新日鉄ソリューションズの棚橋会長がJISA(情報サービス産業協会)会長に就任

新日鉄ソリューションズ(株) 棚橋康郎代表取締役会長が、5月30日、(社)情報サービス産業協会(JISA)(*)の第7代目の会長に就任した。

棚橋会長は、「これまで、会員企業の情報交換や懇親の場

という側面が強かったJISAを、業界の課題を解決するための団体として機能させたい」と抱負を語った。

*情報サービス産業協会(JISA): 情報関連技術の開発促進、情報化の基盤整備等を通じ、情報サービス産業の健全な発展を

図るとともに、我が国の情報化を促進し、もって経済・社会の発展に寄与することを目的とする。正会員会社645社。
<http://www.jisa.or.jp/>

お問い合わせ先
新日鉄ソリューションズ(株)
TEL 03-5117-4111 (代表)



日本鉄板(株) 全事業所でISO14001認証取得

日本鉄板(株)は、既に認証を取得していた本社、大阪支店、名古屋支店に続き、本年3月31日付で、北海道、東北、関東、新潟、静岡、北陸、岡山、中国、九州の9支店でISO14001の認証を取得、このたび「登録証」を

受領した。これで本社ならびに全国すべての支店で取得を完了、全社をあげて「環境にやさしい商品取引活動の推進」をはじめ、環境負荷低減活動を推進していく。

お問い合わせ先
日本鉄板(株)総務部
TEL 03-3272-5112(代) Fax 03-3271-9595



鋼製橋梁工事に関する東京高等検察庁による起訴について

この度、当社が起訴されたことを厳粛に受け止めております。当社ではこれまでコンプライアンスの徹底を図ってまいりま

したが、社内調査の結果、社員が事件に関与したことは把握しており、会社として深く反省しております。

あらためて、日常業務における法令遵守の確認、社員教育の徹底や内部監査体制のさらなる充実を図り、再発防止に全力を

尽くすことにより、社会から信頼される公正な企業活動の実践に、真摯に取り組む所存です。
(2005年6月15日)

紀尾井ホール (財)新日鉄文化財団 7月主催・共催公演情報から <http://www.kioi-hall.or.jp>



4日 日本和装スペシャル 【邦楽】
邦楽、西洋と比べれば(十八)「生」(いのち)
出演: 対談ゲスト/日野原重明(聖路加国際病院名誉院長・理事長)、竹内道隆(音先案内人)、高橋薫子(ソプラノ)、中鉢聡(テノール)、瀧田亮子(ピアノ)、島田歌穂(朗読)、富山清琴(歌・三弦)、富士松魯遊(浄瑠璃)、新内勝史郎(三味線)ほか
曲目: ブッチー二作曲・歌劇「トスカ」より
「歌に生き、恋に生き」* 星は光りぬ* ほか

8・9日 紀尾井シンフォニエック東京 第50回定期演奏会
出演: 原田幸一郎(指揮) 村治香織(Guit)
紀尾井シンフォニエック東京
曲目: マルタン作曲「7つの管楽器、ティンパニ、打楽器と弦楽のための協奏曲」 ほか

19日 第15回 新日鉄音楽賞贈呈式 受賞記念コンサート
・フレッシュアーティスト賞: 植村理葉(Vn)
・特別賞: 栗山昌良(演出家)
植村理葉ヴァイオリン・リサイタル ピアノ: 横山幸雄

20日 紀尾井ホール10周年記念特別公演 【邦楽】
日本音楽のかたち~岩手の秘謡「御祝」(こいわい)
第21回 東京の夏 音楽祭2005
出演: 岩手県遠野市水口御祝保存会、藤井昭子(三弦)、塚本徳(三弦)、渡辺明子(三弦)
曲目: 遠野市水口の伝統芸能と民話、岩手の秘謡「御祝」、高砂 ほか

お問い合わせ・チケットのお申し込み先: 紀尾井ホールチケットセンター
TEL 03-3237-0061 受付10時~19時 日・祝休